

どんな土地でも安全にくらせる建物を！



とち あ たてもの せつけい
～土地に合わせた建物の設計～

かぶしき がいしゃ
株式会社
は せ ころ
長谷工コーポレーション
おかの みつる
岡野 満さん

川の近くの土地に建物を建てる場合には、過去に起きた水害の記録を調べたり、きそとなる土地の様子を調査したりして、まず、その土地の持ちようを確認します。その上で、新しい建物をどのように設計するかを考えていきます。

川の近くは土地が低いので、排水管の位置を工夫したり、水害で建物が水をかぶった過去の記録をもとに、その高さよりも床の位置を高くするための盛土を

したりします。最近ではゲリラ豪雨による水害が増えているため、それらの対策は欠かせません。さらに川は風の通り道になっている場合が多く、風の影響も

考えて、窓などのサッシの強度を高める工夫もしています。建物は、住む人が安心してくらせる場所であればなりません。建物の防災対策が十分でない、

人の命にかかわります。建物を設計する上で大切にしていることは、安全で快

適に住める建物であるとともに、その建物

が町の景観にとけこんでいるか、景観をそこなわないかという点です。その上で、

「自分がこんな建物をつくりたい！」という

思いをこめて設計し、それが実現した建物

は、わが子のようにいとおしく感じられます。

